

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2024 年 4 月 18 日開催分)

開催年月日 : 2024 年 4 月 18 日(木) 11:00~13:30

開催場所 : (株)WOWOW プラス Space17C

委員の出席 : 番組審議員 7 名

インターローカルメディア 2 名

WOWOW プラス 7 名

出席者

[審議員] 青木眞弥、池ノ辺直子、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、  
村上典吏子、湯浅正敏 (以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] インターローカルメディア株式会社

久保政史、佐藤肇

株式会社 WOWOW プラス

大熊和彦、宮澤辰之、松田健吾、青木昭、高木慶、

森平伸雄 (記録撮影)、渋谷明子(書記)

議題 : (1) 2024 年 1 月~3 月の「歌謡ポップスチャンネル」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について

(2) 「歌謡ポップスチャンネル」の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項 : 2024 年 1 月~3 月の「歌謡ポップスチャンネル」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について

(株)WOWOW プラス メディア戦略局長より代表的な内容等の概要説明を行った。

審議事項 : [審議番組]

『小椋佳特番 -傘寿- 今、黄昏に生きる』

<番組概要>

2024 年 1 月に傘寿(80 歳)を迎えた小椋佳。これまで作った歌は約 2,000 曲にのぼり、「シクラメンのかほり」「愛燦燦」など数多くの名曲を世に送り出してきた。しかし、2021 年に突然の引退宣言をする。

番組では、小椋佳の足跡を振り返りながら、最新密着映像とインタビューにより、彼の歌の原点、そして余生の“今”に迫った。また、小椋が企画したミュージカルに出演し、初舞台を踏んだ山崎育三郎とも対談。

小椋の誕生日である、1 月 18 日に放送した。

審議内容 : ■審議員意見

- ・とても興味深く拝見した。人間・小椋佳を改めて発見できるような、番組の構成も良かった。小椋さんの曲を改めて聞いてみようと思う機会となった。これからも小椋さんを追って行って欲しい。

- 昔を色々と思いだした。「小椋佳」の生き様がわかりやすく、同世代のファンがすごく喜ぶような番組だった。素晴らしい内容だったと思う。
- 人生の着地、アーティストの着地をどうするのかを、小椋さんがしっかりと話されていた。本音の本音を言っている。知っているエピソードも、上手く構成されていて面白く、メモを取りながら見た。小椋さんにここまで踏み込んで番組を作った人はいないと思う。
- ゲストの山崎育三郎さんの華やかさが、「黄昏に生きる」というタイトルと対になっているようで、しかも小椋さんの足跡の中でも、山崎さんとの関わりは、立っていて華になっていて良かった。
- 子供が主役のミュージカル制作を長く続けていたことは初めて知ったが、その経験から社会還元として貸スタジオを設立した話は、内心を表現した持ち歌のイメージと違って意外だった。「発想力が枯渇し、もがいている」という本音の吐露には、ヒットメーカーも人間なんだと感慨を覚えた。誕生日に放送したのも粋。昔の写真を使う際は、小椋さん本人にフォーカスしたカットがあると良かった。
- 知らないことが多く、興味深く見る事が出来た。ライブラリーのみでなく、山崎さんとの再会などもあり、1時間弱のコンパクトな番組ながらも、良かった。劇場映画でも音楽ドキュメンタリーが増えているので、放送以外、劇場での上映や配信などにしても良い。
- 素敵な歳の重ね方をしている小椋佳という人がどんな人物か、新たな発見が出来た。これを一つの型として新たに展開し、放送以外の活用も検討したらよいのではないか。

-----

連絡事項： 次回番組審議会は、2024年7月18日(木)午前11時(予定)より開催。

以上